

平成30年第1回（3月）山陽小野田市議会定例会

請 願 文 書 表

受 理 番 号	受 理 年 月 日	件 名	請願の主旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員の氏名	付託委員会
第1号	平成29年 12月26日	埴生地区複合施設建設に 伴うJアラート設置につ いて	別添請願書 写しのお り	山陽小野田市東糸根 埴生地区自治会協議会会長 水田 三代春	河崎 平男 水津 治	総務文教 常任委員会

平成 29 年 12 月 25 日

請 願 書

山陽小野田市議会

議長 小野 泰 様

請 願 者

山陽小野田市埴生地区自治会協議会会長

水 田 三代春

【紹介議員】

河 崎 平 男

水 津 治



平成 29 年 12 月 25 日

請 願 書

山 陽 小 野 田 市

市議会議長 小野 泰 様

申 請 者

住 所 山陽小野田市東糸根

氏 名 埴生地区自治会協議会会長

水 田 三代春



紹介者 市議会議員

河 崎 平 男



紹介者 市議会議員

水 津



埴生地区複合施設建設に伴う Jアラート設置について

現在埴生地区においては、前場川護岸工事が続行中であり、一方では複合施設の整備計画が着々と進行しつつあります。

平成 11 年 9 月、埴生の海岸沿い地域が高潮によって甚大な被害を受けたことにより、その安全対策として始まった前場川の護岸工事ではありますが、被災後 18 年経過するも未だ完成に至っていません。

特に、埴生地区で最も危険な地域と言われる旧国道 2 号線に沿った町地区

南西側は、海と前場川に挟まれた低海拔地域であり、近年の地球温暖化によって埴生漁港岸壁で計測する水位が数十センチ上がったとされる不安要素もあって、住民は毎年台風や豪雨のたびに大きな不安に襲われ続けているのが現状です。

いざ災害となった時には、待ったなしの迅速な避難勧告・誘導等の対応が必要となってくるわけですが、護岸工事の完成もほど遠い現況下で、せめてこの度、複合施設新設に伴い J アラートを設置して欲しいというのは、住民の切なる願いであります。

罹災後、自治会などでも防災訓練の充実を図り、地区単位の防災組織を強固にするなど、自助努力も継続中ではありますが、自治会組織での連絡や市の街宣車による避難勧告では、一刻を争う状況下の即時周知面で限界があると感じざるを得ません。

前述の通り、遅れ遅れの護岸工事がゆるやかに続行する中、一方で複合施設建設に向けての地盤整備工事が動き始めたばかりの今だからこそ、Jアラートの設置を新施設計画の中に組み込んで頂きたいと、強く請願するものです。

地域住民の安心と安全性の確保のために、自治会の代表者として、早急な対応をお願い申し上げます。

以上